

2026 年 8 月 10 日
東京海上日動火災保険株式会社

自動通報サービス付き自動車保険に事故防止の機能追加 **～「スマホながら運転警告機能」と「誤踏み注意喚起機能」等で事故の未然防止も支援～**

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 城田 宏明、以下「当社」)は、2026 年 12 月より、自動通報サービス付き自動車保険「DAP(ドライブエージェントパーソナル)」の最新機種^{*1}(以下「DAP 新型」)に、AI を活用した事故防止機能を新たに追加します。

新たに搭載する「スマホながら運転警告機能」や「誤踏み注意喚起機能」により、事故発生後の迅速な対応に加え、事故そのものを未然に防ぐ取組みを強化します。これにより当社は、お客様の“いざ”をお守りするだけでなく、“いつも”の安全運転も支援してまいります。

*1 自動車保険「ドライブエージェント パーソナル」特約の「新型・事故自動通報ドラレコ」

(<https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/service/auto/total-assist/shohin/dap.html>)

1. 背景

近年、スマートフォンの使用による注意散漫な運転や、アクセルとブレーキの踏み間違いによる事故が社会課題となっています。警察庁によると、スマートフォン等の使用による「ながら運転」は、2019 年 12 月の改正道路交通法施行により違反点数や反則金が引き上げられたものの、依然として年間約 20 万件の検挙が発生しており、死亡・重傷事故件数は、2025 年に 148 件と過去 10 年間で最多を記録^{*2}しています。また、アクセルとブレーキの踏み間違いによる事故は高齢者に限らず幅広い年代で発生しており、死亡事故の増加も確認^{*3}されています。

こうした社会課題に対応するとともに、お客様の安全運転をより一層支援するため、当社は DAP 新型のドライブレコーダー端末に新たな機能を追加することといたしました。

*2 警察庁「やめよう！運転中のスマートフォン・携帯電話等使用」(<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/keitai/info.html>)

*3 警察庁 令和6年上半期における交通死亡事故の発生状況(<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/bunseki/kamihanki/060725R06kamihanki.pdf>)

2. 今回の対応

当社の DAP は事故発生時の自動通報や事故対応サービスなどを通じて、お客様の「いざ」をお守りしてきました。

今回の機能追加では、当社がこれまで蓄積してきた走行データや事故データと AI 技術を活用し、危険運転や事故につながる兆候を検知・注意喚起することで、事故の未然防止を支援します。

(1) 新機能詳細

新機能	内容
スマホながら運転警告機能	走行中にスマホながら運転を検知した際に、リアルタイムで音声にて注意喚起します。
誤踏み注意喚起機能*4	独自のアルゴリズムにより、ペダルの踏み間違いを検知した場合、次の運転開始時に音声にて注意喚起します。
わき見・居眠り警告	走行中にわき見・居眠りを検知した際に、音声と画面表示により注意喚起します。
降雹(ひょう)アラート	特定エリアで雹が降る可能性が高まった際に、音声にて注意喚起します。

*4 当該機能を搭載する要注意運転アラート機能(普段とは異なる運転の特徴を検知するもの)のアルゴリズムは、2026 年 6 月に特許を取得しています。

【画像イメージ】

・スマホながら運転警告機能 ・誤踏み注意喚起機能



(2) 特約保険料

本機能追加による DAP 新型の特約保険料に変更はございません(月額 500 円／分割払・分割増ありの場合)。

(3) サービス提供開始時期

2026 年 12 月よりソフトウェアアップデートを実施し、新機能を追加いたします。

3. 今後の動き

これからも、お客様の“いつも”を支え、“いざ”をお守りするために、DAP を一層普及させ、高度な事故対応サービスや事故削減サービスの提供等の提供を通じて、お客様の安心・安全なカーライフの実現に貢献してまいります。

以 上